

CASBEE神戸ver.2 健康福祉センター「恋野温泉うはらの湯」		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.2	■評価ソフト: CASBEE神戸ver.2 / CASBEE-BD_1		
スコアシート 実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.7</b>	
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.37</b>			<b>2.9</b>	
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-	3.0	
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		3.0	0.84	3.0	-		
2 界壁遮音性能		3.0	0.16	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-		
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	-	-	3.0	
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-		
1 室温		3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-		
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-		
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	-	-	3.0	
3.1 昼光利用		3.0	0.34	-	-		
1 昼光率		3.0	0.56	3.0	-		
2 方位別開口		-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備		3.0	0.44	3.0	-		
3.2 グレア対策		3.0	0.10	-	-		
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		3.0	0.17	3.0	-		
3.4 照明制御		3.0	0.39	3.0	-		
<b>4 空気質環境</b>		<b>2.8</b>	0.25	-	-	2.8	
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-		
2 アスベスト対策		-	-	-	-		
4.2 換気		3.0	0.30	-	-		
1 換気量		3.0	0.34	3.0	-		
2 自然換気性能		3.0	0.32	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.34	3.0	-		
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>	
<b>1 機能性</b>		<b>2.5</b>	0.40	-	-	2.5	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		1.4	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		3.0	0.14	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		2.0	0.12	-	-		
3 内装計画		1.0	0.74	-	-		
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務		-	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		

<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.3</b>	0.30	-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.2</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	各階4m以上の階高を確保している。	5.0	0.24	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁の長さを抑え、まとまったスペースの空間づくりとしている。	4.0	0.76	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	3.0	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.33	-	-	<b>2.2</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		モデル建物法のBPI値を0.90以下としている。	<b>4.0</b>	0.13	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.11	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEIm 非住宅 0.79 住宅(専有部) -	<b>4.0</b>	0.54	-	-	<b>4.0</b>
集合住宅以外の評価(3a.3b)		モデル建物法のBEIm値を0.90以下としている。	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.22	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
1.1 節水			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.6</b>	0.60	-	-	<b>2.6</b>
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物と同程度としている。	<b>3.5</b>	0.33	-	-	<b>3.5</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.9</b>	0.33	-	-	<b>2.9</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.6</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>2.8</b>	0.33	-	-	<b>2.8</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>2.3</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			2.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	